

富山県若年性認知症 相談・支援センター

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会
富山県若年性認知症相談・支援センター
〒930-0094 富山市安住町5-21サンシップとやま2階
富山県難病相談・支援センター内
TEL 076-432-7501 FAX 076-432-6578

活動だより



認知症は高齢者だけではなく若い年代でも発症します。65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」と言い、高齢者の認知症と症状はほぼ同じです。しかし、働き盛りであるため経済的なことが大きな問題となります。

当センターでは、受診の相談、診断後は就労継続の支援、利用できる制度の紹介・手続き支援や介護サービス利用支援など症状に応じてワンストップで相談・支援を行っています。本人や家族だけでなく、医療・福祉・行政機関、企業等からの相談にも応じていますので、気軽にお電話ください。

令和5年度 活動実績

相談・支援

相談実数は、63人で、50歳代が最も多く約4割を占めています。相談者は、家族が最も多く半数以上でした。病名では「アルツハイマー型認知症」が約半数、「認知症を疑っての相談」は約3割でした。相談内容は、「症状や生活上の困難」や「就労」に関するものが多くなっています。

若年性認知症支援コーディネーターが相談に応じています。

電話相談・面接相談

月～金曜日 9:00～16:30
土曜日 13:00～16:00
TEL 076-432-7501

◆相談者数

実数	63人
延数	244人

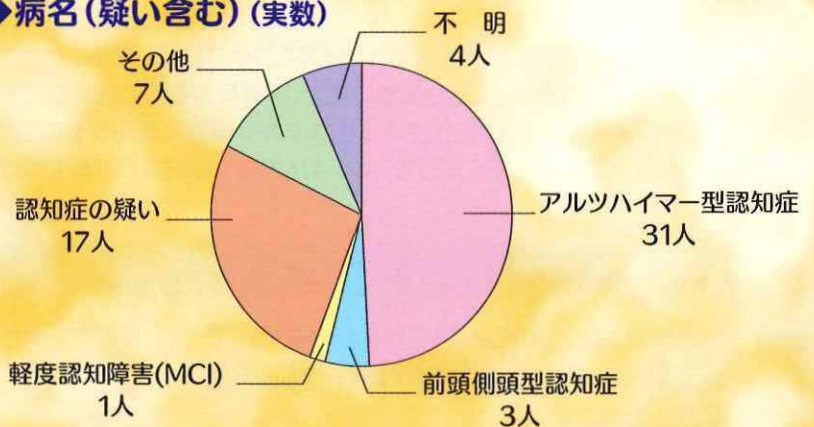
◆相談対象者の年代(実数)

39歳以下	2人
40歳代	4人
50歳代	27人
60～64歳	18人
65～69歳	4人
70歳以上	4人
不明	4人

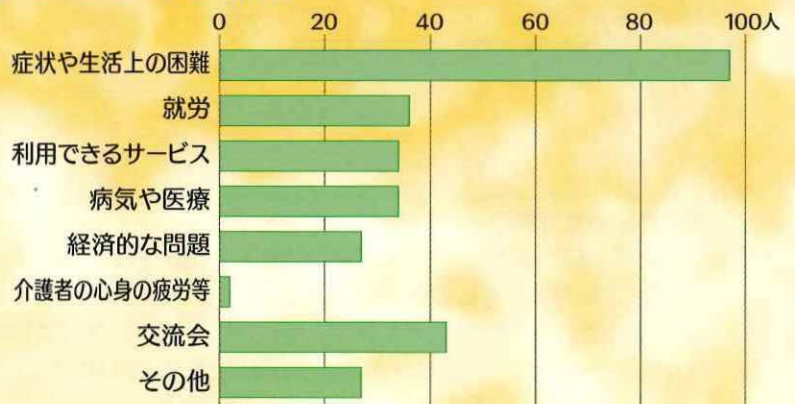
◆相談者の内訳(延数)

本人	41人
家族	135人
その他	68人

◆病名(疑い含む)(実数)



◆相談支援内容(延数)



ご本人・家族の交流会

ご本人・ご家族が気軽に話ができる集いの場を開催しています。

●なないろカフェ〈本人・家族の交流会〉

奇数月の土曜日午後4回開催、延18人(9組)が参加されました。

2階の喫茶店でコーヒーなどを飲みながら、ご本人とご家族に分かれて交流しました。

本人交流会では、車の運転や仕事、家事、買い物などについて話し合いました。困っていることでは「スーパーのレジの支払いが各自でするシステムになり利用できなくなった」と意見があり、共感されていました。

家族交流会では、自宅での過ごし方の工夫(調理を一緒にしたり、簡単な家事などの役割を持ってもらうなど)やGPS機能による所在確認方法などについて情報交換しました。



●おしゃべりサロン〈家族の交流会〉

偶数月の火曜日午前に6回開催、延32人(28組)が参加されました。

服薬、焦燥や暴言・暴力時の対応、行方不明対策など困りごとについて情報交換しました。

本人が参加された時には本人も交えて話し合いをし、他のご家族が自身の体験をもとに話をされたり、アドバイスされたりしました。



支援者のための研修会及びネットワーク会議

研修会をとおして関係機関と連携を図っています。

開催日	内容 (オンライン開催)	参加者
R5年 10月31日	<p>○活動報告「関係機関との連携で支援する」 富山県若年性認知症相談・支援センター</p> <p>○講 義「若年性認知症の人と家族の支援 ～本人と家族の思いを理解して利用できる制度やサービスを考えよう～」</p> <p>講師 一般社団法人ボーダレス 代表理事 名古屋市社会福祉協議会 ソーシャルワーカー 鬼頭 史樹 氏</p>	62名

〈感想〉

- 当事者やその家族が抱えている課題について詳しく知ることができた。
- 講師の経験をもとにした講義に加え、当事者の意見を動画で実際に見ることができ、わかりやすかった。
- どのような制度を利用できるのか大まかな概要を理解することができた。
- 若年性認知症の方に限らず、まずは当事者や家族の話に耳を傾けて話せる関係づくりに尽力したい。 など

啓発普及事業等

若年性認知症のことや当センターを知ってもらうため、企業や関係機関にリーフレットを配布しています。

また、地域で行われる関係機関の勉強会で活動報告や講話を行ったり、ケア会議に出席するなど、周知及び連携を図っています。

下記リーフレットをご希望の方は、当センターへお問い合わせください。またホームページからダウンロードできます。



センター
リーフレット



企業等・職場向け
リーフレット



若年性認知症
ハンドブック



若年性認知症支援コーディネーターのつぶやき

認知症に関する理解は広まってきていますが、若年性認知症については、まだまだ知られていません。そのため物忘れなどの症状があっても本人や家族、職場でも認知症とは気づかないことが多いようです。当センターでは、受診に関する相談も行っており、気軽に電話していただきたいと思いますが、当センターを知ってもらうにはどのように周知したらよいのかと、いつも悩んでいます。

